

あれやこれや
つげ幻象

枯野原ひとがささつてゐたりけり
 木守柿あつらへむきの色湛ふ
 月冴ゆる代行バスのこぢんまり
 団地古い排水管の音冴ゆる
 杉玉のいびつの吹かれ冬めけり
 公園を散らかす風や年つまる
 お呼ばれのあれやこれやに淑気満つ
 くちばしを風に研ぎたる寒鴉かな
 かへりみて寒オリオンに身の置き場
 梟のこゑに一夜の香り立つ